



霞ヶ浦用水を利用した畑地かんがい研修会が行われました。

平成27年8月6日(木)に県営畑地帯総合整備事業中結城地区(八千代町佐野)において、霞ヶ浦用水を利用した畑地かんがい現地研修会が開催されました。

この研修会は、畑地かんがい施設を整備した地区における、畑地かんがい営農の定着と普及拡大を目的に、平成21年度より霞ヶ浦用水土地改良区が開催しています。

今年度は、地区内25アールのかん水施設を活かした実証ほ場において、かん水による増収効果が期待される露地ネギの栽培方法や、生育状況等について、霞ヶ浦用水土地改良区、結城地域農業改良普及センターより説明がありました。当日は、約50名の方が参加し、有意義な研修会となりました。

研修会の主な内容は、下記のとおりです。

- ・ネギのスプリンクラーかん水を行った結果、昨年度は、無かん水に比べ収量が1.3倍、粗収益が1.25倍になった。
- ・ネギの生育適温は15℃～20℃だが、今年度は25℃を超える日が多く、ややボリューム不足気味であり、9月まで実証試験を継続し、収量等の調査を実施することとなった。

研修会の様子



スプリンクラー及び散水チューブによるかん水のネギの生育状況の比較(5月時点)

かん水区



無かん水区



各1m区間(30~40株)の平均値

草丈(cm)	かん水区48.8	無かん水区34.8
草鞘径(mm)	かん水区12.2	無かん水区9.4

かん水区の方がネギが大きく育っているね！！

